

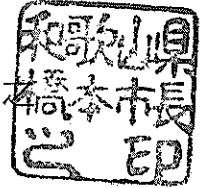


橋 建 設 第 91 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

橋 本 市 長
木 下 善 本



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃から県政ならびに本市道路行政に理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国 道 企 第 37 号（平成20年9月19日付）で依頼いただきました、今後の道路行政についての意見・提案につきまして、別紙により提出（回答）いたしますのでよろしくお願いいたします。

1, 道路財源の地方への配分増、及び地方財政負担の軽減

府県（県県）間道路は地域の最も重要なインフラであるが、都市側の府（県）ではその重要性が軽視され閉塞をおこし、地方の道路整備も滞っています。これは全国的な問題であります。整備が円滑に進んでいない状況は国の問題とし、今後は地方づくりの観点を念頭に国土交通省が責任を持って取り組まれるよう切に要望いたします。

②－１ 地域の現状と抱える課題

和歌山県橋本市

○ 現 状	○ 課題・要望
本市は長期総合計画の基本目標として環境と調和した企業誘致、観光産業の育成等を推進しております。企業誘致を進めるなかで、長尺物を運ぶトレーラー等の通行障害を指摘され誘致の弊害になっている。 又、朝・夕の通勤ラッシュ時及び観光シーズンには交通渋滞が多発している。	企業誘致及び地域活性化のためにも国道３７１号バイパスの早期完成はもとより、仮称新紀見トンネルの早期着工をお願いします。 又、観光に来られる方で多発する交通渋滞のため公衆便所等休憩できる場所があればと言うご意見を多く頂いており、観光リピータ確保の弊害にもなっている。
大阪府側の国道３７１号（天見バイパス）は進捗が遅いうえに府の予算が削減され、ペースダウン路線に位置づけられたため、完成の目処が立たない。	国の第４次全国総合開発計画では地域高規格道路として位置づけられていた重要路線であり、橋下知事の唱える「関西州」に繋がる考え方としての府県間道路の組み立てをして、事業のスピードアップを図って頂き、国道３７１号バイパスを早期に完成して頂くよう、国土交通省からも大阪府に対して働きかけをお願いしたい。 又、大阪府側(天見バイパス３工区2.4km)と仮称新紀見トンネル(和歌山側0.74km)を併せて、国土交通省の直轄代行事業として採択して頂きたく検討お願いしたい。
国道３７１号整備について、紀伊丹生川ダム建設により、世界遺産「霊場高野山」までのアクセス道路として整備等を期待をしていましたが、計画中止となったため周辺地域の整備が滞っている。	予定していた周辺整備計画に代わる観光地へのアクセス向上や、まちなみ自体を観光資源として整備推進することが急務であります。
国道２４号につきましては、歩道未設置やバリアフリー対策が万全でなく、交通事故多発地域であります。	交通事故対策及びバリアフリー対策により安全・安心空間を確保し、沿線添い商店街の活性化が必要です。

本当に住んでよかったと思えるまちへ

橋本市は和歌山県の東の玄関口であり、高野山のふもと、母なる川・紀ノ川の中流域にいちしています。大阪都心・和歌山市・奈良市からおよそ40～50キロと近接していながら、非常に豊かな自然環境に恵まれたまちです。行政としては「安全・安心なまちづくり」「活力みなぎるまちづくり」「緑のまちづくり」を3つの柱に、福祉や防災対策の強化、ごみの減量化や自然環境保護、教育環境の充実などに取り組んでいます。

橋本市にはかつて高野山の宿場町として栄えてきた歴史があり、1980年代からは大都市圏のベッドタウンとして発展してきました。今後は将来のさらなる発展のために、「活力ある産業のまち、魅力ある定住のまち」を目指して、企業誘致、地場産業育成、起業家支援などの事業を推進していきます。これまでに開発済みである住宅地の他に、和歌山県下最大級の規模となる、広大な企業用地を開発していく予定です。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

和歌山県橋本市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国道３７１号 バイパス早期完成 京奈和自動車道路 早期完成	近隣都市の企業誘致活動のさい、大型運搬車両（トレーラー）が通行出来ない、又、輸送コスト高が足枷となっている。 新紀見トンネルは大阪府に跨る府県間トンネルであるため事業調整が必要です。 企業誘致活動を近畿圏また名古屋方面まで広めるとき、高規格道路が是非とも必要不可欠であります。	和歌山県下最大級の企業用地に誘致し地域経済の活性化・産業・生活インフラに寄与する。 国土交通省の直轄代行事業として採択頂ければ、事業の進捗が図れると思われます。 輸送コスト削減等により企業誘致活動が広範囲に行へ立地企業獲得が促進する。	企業誘致箇所は紀北橋本エコヒルズ(73.1ha)をメインに6団地、合わせて383.6haを立地し、市長直轄機関（企業誘致室）を設置、誘致活動を強力に展開しています。
国道３７１号整備	本市の奥座敷に位置する観光施設「宿青少年旅行村」へのアクセス道路であり、３７１号に添って流れる清流「丹生川」には夏場シーズン中近隣都市から涼を求める観光客で大変賑わっていますが、非常に狭隘道路で対向も困難な状況であり、観光アクセスの向上が急務です。	世界遺産である霊場高野山へのアクセス道路でもあり、現在観光バスも通行出来ない状態であるため、整備されれば本県の観光資源を生かした観光産業の活性化につながる。	霊峰高野山の麓に位置する宿地内に周辺環境整備と共に、仮称青少年旅行村（温泉施設）を整備中であり、アクセス道路の整備が必要です。
国道２４号整備	歩道未整備区間もあり、交通事故対策及びバリアフリー対策が必要です。	安全・安心空間を確保することにより市街地商店街の活性化に寄与する。	安心エリアを拡張し交通事故を削減する。